



ふじ美が原

富士見中学校

特集：入学式

**富士見中の三本柱「挨拶」「清掃」「合唱」
先輩たちは、小さなことを積み重ねることで、「特別」を生み出している
先輩をモデルに積み重ねる力を身につけてほしい**



百三十三名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうござい
ます。
中学校に進学し、皆さん
の心の中には、期待と不安の
両方があるのではないかと想
像しています。環境が変わる
ときには、心配な気持ちが生
まれて当然です。ですが、皆さ

百三十三名の新入生を迎え、全校生徒三百六十六名で令和二年度が始まりました。感染症への対応のため、来賓の皆様に参加をいただけない中でしたが縮小し、挙行することができました。今年度のスタートでもあった入学式の、学校長と新入学生代表生徒の話をご紹介します。

式 辞

厳しかった冬の寒さも和らぎ、春のエネルギーを感じる季節となりました。
今現在、我が国も、そして諸外国も、見えざる相手と対峙するという大きな困難に直面しております。そのような常ならぬ状況の中、関係各位のご尽力、保護者の皆様のご理解とご協力、新入生諸君の生活態度の確かさがあったおかげで、今日という日を無事に迎えることができました。本日ここに、第十一回富士見中学校入学式を挙行できますこと、誠に嬉しく思っております。

んの先輩たちがそうであったように、これからの日々の積み重ねが皆さんを少しずつたくましくしていきます。一日一日を大切に、共に頑張っていきましょう。
では、皆さんに富士見中について大きく二つのことを話します。一つは富士見中の三本柱について、もう一つは富士見中の学校教育目標についてです。
一つ目の富士見中の三本柱とは、富士見中で大切にしている「挨拶」「清掃」「合唱」のことです。

この三本柱のすごさは何だろうかと考えたとき、私が思うことの一つは、日々の取組をおろそかにせず、一回一回を大切に積み重ねている、ということ。一回一回の取組それ自体は小さなものであるかもしれませんが、少しずつ積み重ねていったとき、それをしてこなかった場合に比べ、大きな違いが生まれることになり。先輩たちは、小さなことを積み重ねることで、「特別」を生み出しています。ぜひ皆さんも、先輩たちの姿をモデルにしながら、積み重ねることの力を身につけてみてください。

二つ目の富士見中の学校教育目標について話します。

こんな力を付けてほしい、という目標を、次のような言葉で表すことにしました。それは、「つながる・つなげる・見つめな

おす」です。
「つながる」というのは、友達をはじめとした校内の人、違う学校の人、富士見町で暮らす人等々の、様々な人をつなぐ、ということ。自分以外の人は、自分にはない考えをもっています。その人なりの経験もあります。そうした、自分以外の他者と関わることで、自分が豊かになり、大きくなります。これが、「つながる」という目標です。

次の「つなげる」というのは、賢さに関係した目標です。皆さんは、頭のよさというのとはどんなことだと思いますか。いろいろなたらえ方があると思いますが、その中の一つに、「つなげて」考えられることがあると思います。例えば、前に勉強したことと今勉強していることを「つなげて」考えて、似ているところや違いに気付ける、勉強の内容と普段の生活を「つなげて」考えて、「この勉強はあのことと関係しているんだ」と考えられる、勉強の内容と自分の将来を「つなげて」考えて、「自分にとってこの勉強はこういう理由で大切だ」と意味を見つけてられる…。このように、「つなげて」考える」ということは、とても大切な働きをしま



す。この力を付けるのが、「つなげる」という目標です。

最後の「見つめなおす」というのは、生活の

様々な場面で必要になる力です。時々立ち止まって、自分がよくできたことや、これから頑張らなければならぬことを



見つめなおす、ということなのです。また、他の人に関して言うと、「○○さんはこういう人だ」と決めつけていないかを見つめなおすということです。こうしたことができるようになるのが、「見つめなおす」という目標です。

「つなげる・つなげる・見つめなおす」を大事な言葉の一つにして、勉強や、様々な活動に励んでいきましょう。

最後に皆さんへのお願いを伝えます。

それは、困ったことや悩みがあったら、誰かに伝えてほしいということなのです。たとえすぐに解決はできなくても、人に話すだけで気持ちが悪くなるということもありません。一人で抱え込まずに、友達や家族はもちろんのこと、この富士見中の先生方にも話をしてください。先生たち全員で、皆さんを支えていきたいと思っています。

さて、保護者の皆様、お子様の御入

学、誠におめでとございます。この日を迎えるまでには、それぞれのご家庭で、様々なご苦労があったことと拝察いたします。

中学校時代というのは、自分について考え、自分らしさを探していく、そんな時期なのではないかと思いま

すが、自立に向かって少しずつ進んでいく子どもたちの時間を、ご家庭と学校とで協力し合って支えていけたらと思っております。温かい愛情と、子どもたちのことを思うゆえの厳しき、そのバランスのとれた関わりを、気持ちをそろえて実現していきたいと思えます。もちろん、それぞれのお子さんによって成長の速度は違いますが、おやみに慌てるのではなく、その子の一步一步を大切にするまなざしを持ち続けたいと考えております。

私たち職員一同、子どもたちのために、精一杯努めてまいります。今後、お子さんのこと、学校のことでお気づきの点やご意見がありましたら、遠慮なくご相談いただけますようお願いいたします。

最後になりましたが、本日ご参列の皆様方のご多幸をお祈りするとともに、新入生の前途を祝して、式辞といたします。

「中学校生活への抱負」

新入生代表一年三部 S・M

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
本日は、このような感動的な入学式をしていただき、誠にありがとうございます。先生方、ご来賓の皆様、上級生の皆様に心よりお礼申し上げます。今日、私たちは大きな希望を胸に、富士見中学校へ入学いたしました。本日から先生方、先輩方、新しい友人と共にいろいろな学習や経験ができると思うととても楽しみです。

今年新型コロナウイルスというのが流行り日本だけでなく、世界中に影響しています。今までのような生活が送れなくなってしまう中、こうして入学式を迎えられることがとてもうれいす。

時には、つらいことや迷うこともあるかもしれませんが。しかし、先生方や家族に支えていただきながら、何事にも前向きに志を立てて乗り切りたいと思います。

最後になりますが、一日も早く中学校生活に慣れ、充実した生活を送れますように努力していきます。先生方、上級生の皆様、どうぞご指導を



お願います。

北信教育事務所より
諏訪養護学校より
新規採用(阿智中学校より)
諏訪市立諏訪南中学校より
茅野市立永明中学校より
諏訪清陵中学校より
茅野市立長峰中学校より
茅野市立湖東小学校より
辰野町立辰野中学校より
茅野市立金沢小学校より
富士見町立富士見小学校より

氏名
久保 貴史
石川 春香
荻原 健太
平澤 修
両角 太
名取 克裕
永尾 佳子
篠原夕美子
トヤ・ウィルソ
立木 良江
伊藤 由美

職名
教 頭
1年副任・国語
2年副任・国語
3年副任・社会
1年副任・数学
1年副任・理科
養護教諭
主事(事務)
ALT
調理員
調理員

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
本年度より新たに、左記の先生方にご勤務いただくこととなりました。よろしくお願いたします。

富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 0266-6212009

FAX 0266-6217409

担当 油井 彰